

伊勢・三河湾貧酸素情報 (H30-6号)

平成30年7月13日
愛知県水産試験場 漁場環境研究部

平成30年7月10日に三河湾において貧酸素水塊の調査を実施しました。その結果は下記のとおりです。

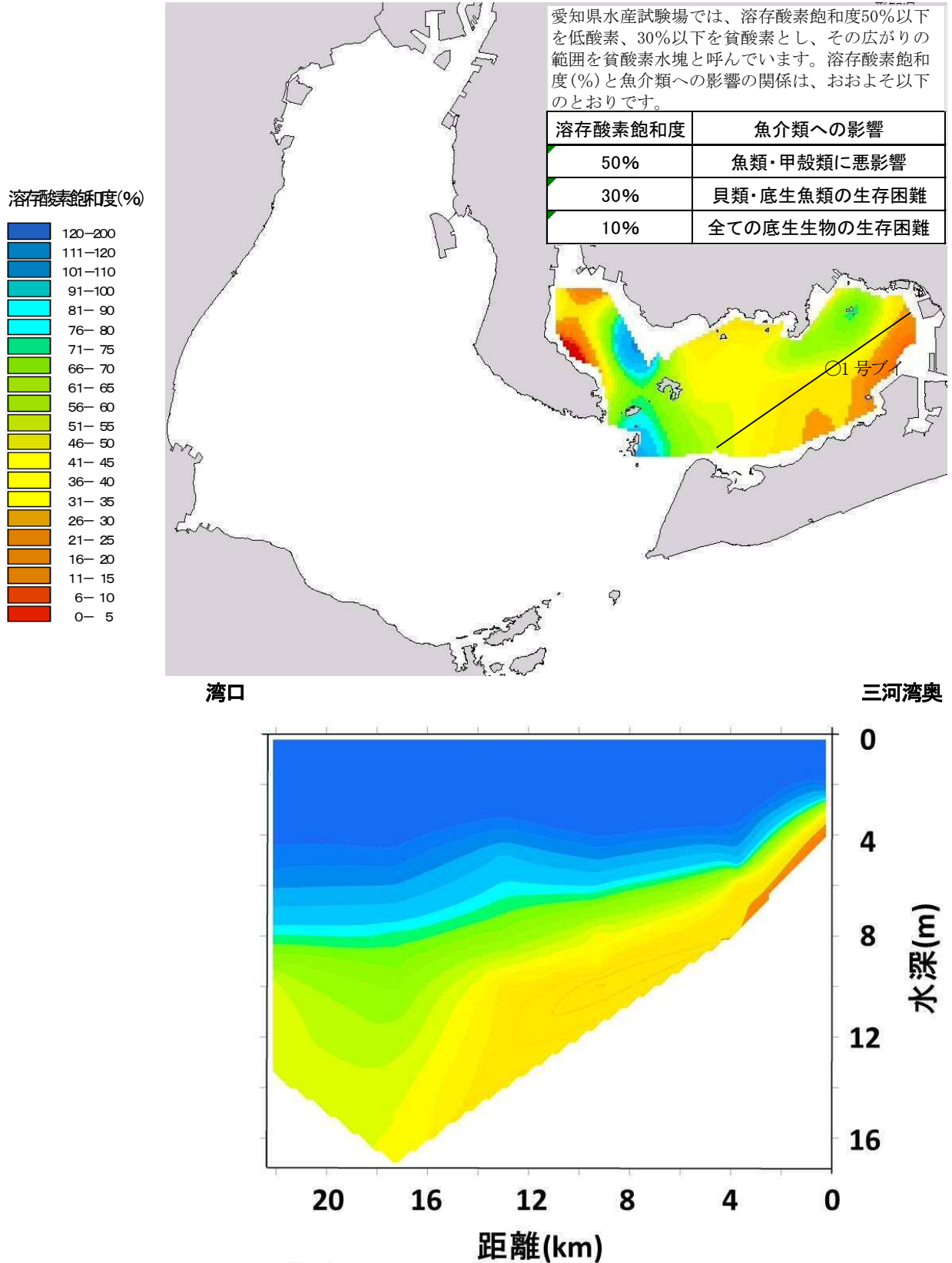


図1 三河湾 (7月10日) 底層の溶存酸素飽和度の分布 (上図) 及び上図直線部分の鉛直分布 (下図) (愛知県「へいわ」調査)

三河湾

7月10日の調査結果を図1に示しました。前回調査（7月3、4日）に比べ、渥美湾では奥部の貧酸素水塊が解消していましたが、一部は南東部に残っている状況が確認されました。知多湾では北部に貧酸素水塊が拡大していました。

三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ（蒲郡沖）のデータをみると、7月4日から7日にかけて風速4.0 m/s～11.4 m/s（平均8.2 m/s）の南東から南西の風が断続的に吹いた影響により、貧酸素の状態が解消しましたが、9日から徐々に貧酸素水の発生がみられています（図2）。

気象庁が発表した週間予報では、平年よりも気温が高い日が多いと予測されており、今後は表層水温が上昇すると考えられます。また、7月5日から7日にかけての降雨の影響により表層塩分が低くなっていることから表底層の密度差が大きくなり、底層では貧酸素水塊が発達すると考えられます。

表1 調査時の水温・塩分

	水温(°C)	塩分
表層	26.2～30.7	5.6～28.2
底層	21.0～25.9	23.9～33.2

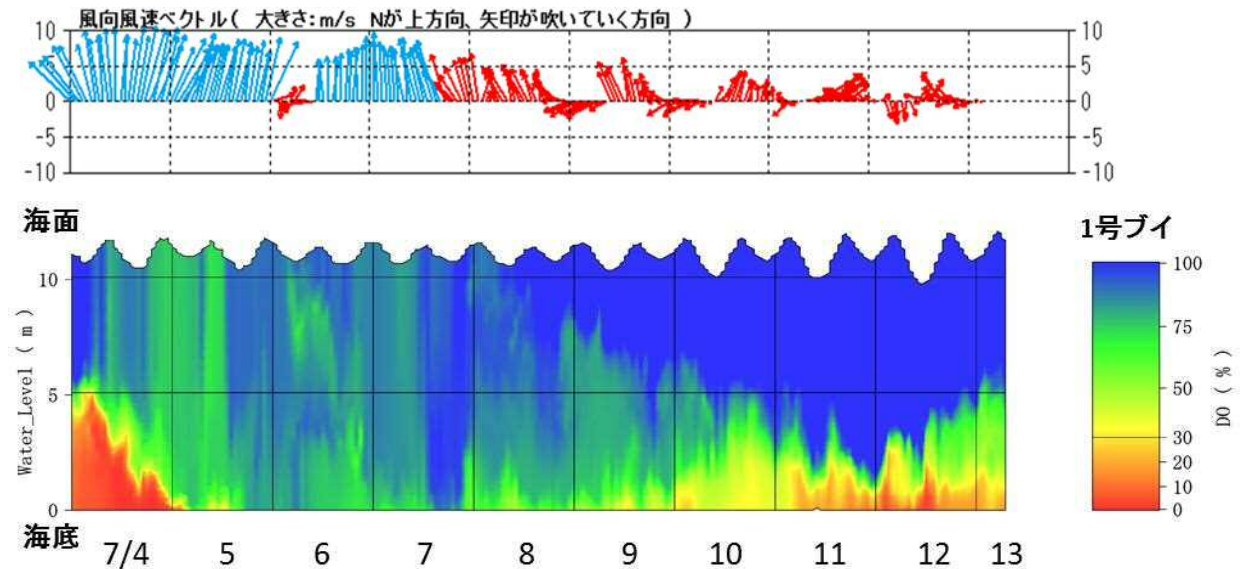


図2 風向風速の経時変化（上図）及び溶存酸素飽和度（DO）の経時変化（下図）
（三河湾海況自動観測ブイ1号ブイ）

参考

前回調査時の底層の溶存酸素状況

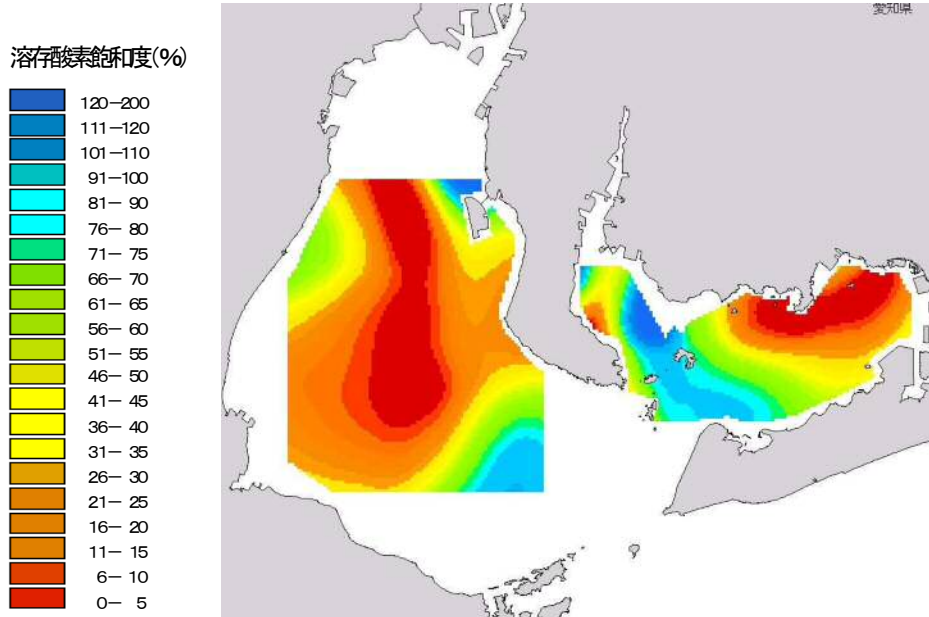


図3 平成30年7月2、3日（伊勢湾）、7月3、4日（三河湾）